

エアーコンプレッサー 50Hz用 CP-245

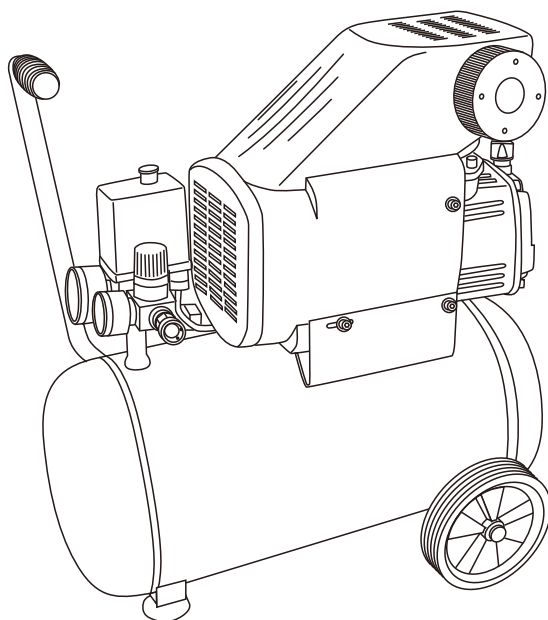
取扱説明書

この度は、弊社エアーコンプレッサーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

本機はDIY商品として開発された商品です。一般家庭用としてご使用ください。

※巻末が保証書になっております。大切に保管してください。



AIRTEC

目次

ご使用上の注意事項／用途	1
仕様／付属部品／各部名称	2
設置場所／配線／オイル給油／消音器の取付	3
エアーホースの取付／アース線の接続	4
使用方法	5
保守と点検	6
トラブルの原因と対策	7

●ご使用上の注意事項

- ・商品の運送途上の衝撃等により、商品が破損したり、取り付け部品が外れたり、曲がったりする場合がありますので、ご使用前に必ず確認して正規の状態でご使用くださいますようお願いいたします。
- ・電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認し、使用後および停電の際には、スイッチを切り、電源プラグを抜くように心がけてください。
- ・整備点検・部品交換の際は、必ずスイッチが切れていることを確認し、電源プラグをコンセントから外してください。
- ・運転中、機械の調子が悪かったり、異常に気付いたときには、ただちに使用を中止してください。
- ・ご使用前には、本体各部のネジ類がしっかり締め付けられているか確認してください。
- ・製品は大事に扱ってください。誤って落としたり、ぶつけたりした場合は、異常の有無を確認してください。
- ・ご使用後は必ずスイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

【表示と意味】

▲ 危険	使用を間違った場合に、使用者が、死亡または、重傷を負う危険、物的損害、火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を表記しています。
▲ 警告	使用を間違った場合に、使用者が、死亡または、重傷、物的損害、火災の可能性が想定される内容を表記しています。
▲ 注意	使用を間違った場合に、物的損害や、傷害を負う可能性、物的損害の発生がある内容を表記しています。

※△注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。安全にご使用していただくために、いずれの注意も必ずお守りください。

※取扱上の危険についてすべての状況を予測することはできません。ここに記載した、注意事項以外にも充分な配慮をしてご使用ください。

▲ 危険	・製品に合った電源周波数でご使用ください。異なった周波数で使用しますと本体異常の原因となります。 ・電圧は、銘板の表示と一致しているか確認してください。100V用のモーターを200Vで使用しますと、モーターが発熱して危険です。逆に低い電圧で使用しますと、モーター異常の原因となります。 ・運転中は、可動部に手を触れないでください。大変危険です。 ・作業場所には作業関係者以外は近付けないでください。特にお子様は危険です。 ・揮発性可燃物（シンナー、ベンジン、ガソリン等）の近くでは絶対に使用しないでください。 ・分解・改造は絶対にしないでください。火災・感電・ケガ等の原因となり大変危険です。また、分解・改造を原因とした事故等において、当社は一切の責任を負いません。
---------	---

▲ 警告	・能力を超えた作業は事故のもとです。また、著しく耐久性を低下させる原因となりますので、ご注意ください。 ・作業の能率や安全のために、取扱説明書に従って、各部品がしっかりと取り付けられているか確認してください。 ・安全な作業をするためには、作業場所は常にきれいに整理をし、十分な採光が必要です。散らかした作業場所は事故のもとです。 ・電力はコンセントから直接取ることが望ましいのですが、やむを得ず延長コードを使用する場合は、断面積2mm²以上で長さ10m以下のコードをご使用ください。延長コードが細かったり、長すぎたりしますと電圧降下によりモーター異常を起こす場合がありますので、ご注意ください。 ・調整用スパナ、レンチ、ドライバー等は使用後すぐに外すようにしてください。
---------	--

▲ 注意	・本機にはアース端子が付いております。感電事故防止のため、必ずアース（接地）をしてご使用ください。また、アース線をガス管・水道管・避雷針・電話線等のアースに接続しないでください。爆発の恐れがあります。なお、本機にはアース線は付属されていません。 ・作業時にはマスクを着用してください。
---------	--

●用途

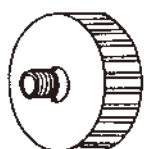
- ・塗装用として（日曜大工、プラモデル・染色・革製品等）
- ・充てん用として（浮き輪、エアーマット、ボール、ビニール玩具、風船、自動車のタイヤ等）
- ・農機具、車の保守用として（エンジンクリーナー、エアーツール等各種機械・器具の洗浄、ホコリ払い）

●仕様

型 式	CP-245
電圧（周波数）	100V（50Hz）
消費電力	750W
電 流	8A
回 転 数	2800min ⁻¹
吐 出 量	100L/min
設 定 圧 力	0.78MPa
安全弁作動圧力	0.86MPa
タンク容量	24L
本体寸法	W530×D330×H570mm
本体重量	約23kg

※製品に合った電源周波数でご使用ください。異なった周波数で使用しますと本体異常の原因となります。
 ※改良等のため、仕様および外観が変わる場合があります。

●付属部品図

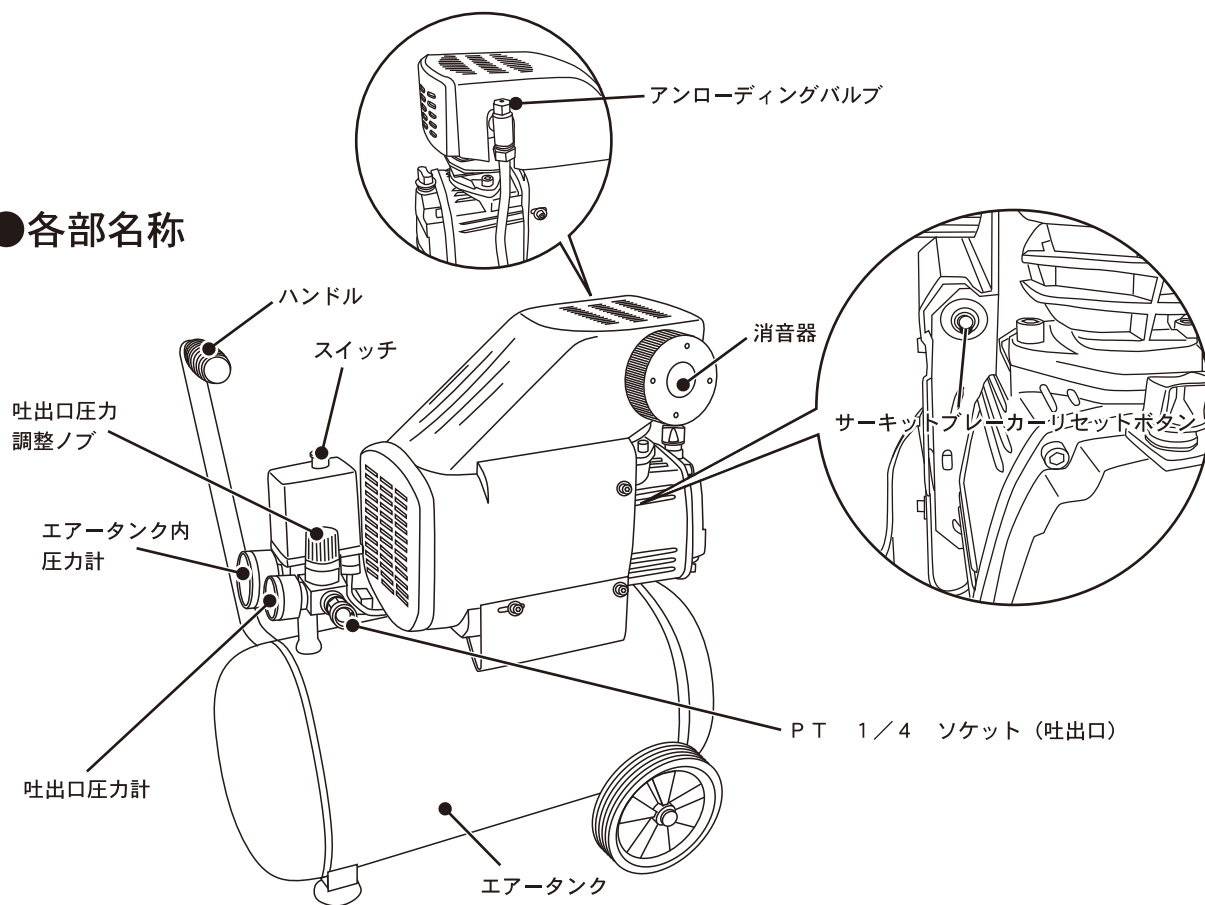


消音器×1ヶ



コンプレッサーオイル×1ヶ

●各部名称



●設置場所

！ 注 意

- ・本機は、お子様の手の届かない所に保管し、湿気の多い所、雨のかかる所、直射日光のあたる所は避け、チリ・ホコリが少なく風通しの良い場所を選んでください。
- ・点検しやすいように、壁から30 cm以上離して平らな場所を選んでください。
- ・室温は、5～40℃で腐食性ガス等のない場所でご使用ください。
- ・0℃以下での使用は、ドレンの凍結などにより動作不良が発生する原因となります。
- ・40℃以上での使用は、ベアリンググリスの劣化等を招き、寿命低下の原因となります。
- ・屋内（雨水、水滴等のかからない場所）でのみ使用してください。
- ・清浄な空気が吸入できる場所を選んでください。チリ・ホコリの多い所では、フィルターの目詰まりにより、空気量の低下やシリンダー、ベアリングを傷つけ、性能が落ちることがあります。

●配線

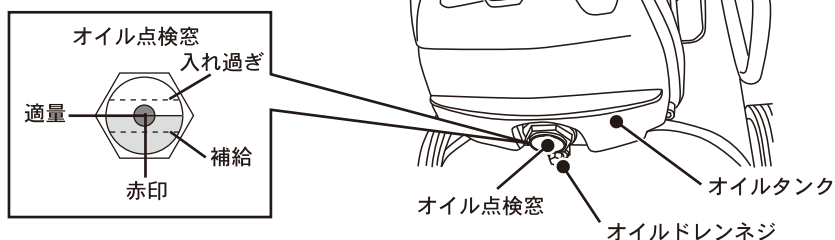
- ・優良な配線器具を使い、電気設備基準や電力会社の規則に従って、保守に十分注意してください。

！ 警 告

- ・電力はコンセントから直接取ることが望ましいのですが、やむを得ず延長コードを使用する場合は、断面積2 mm²以上で長さ10 m以下のコードをご使用ください。延長コードが細かったり、長すぎたりしますと電圧降下によりモーター異常を起こす場合がありますので、ご注意ください。

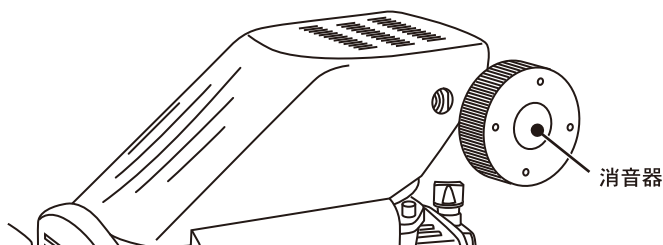
●オイル給油

- ・出荷時にはオイルは注油されておりません。付属のオイルをオイル注入口より給油してください。
- ※オイル注入量は点検窓から確認ができます。赤印よりも少なくなったらコンプレッサーオイルを補給してください。
- ※オイルを入れ過ぎるとオイルが噴き出すことがありますのでご注意ください。



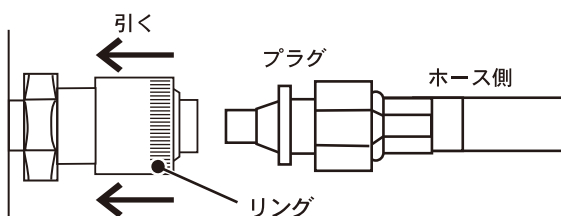
●消音器の取付

- ・付属の消音器をシリンダ部に取り付けます。

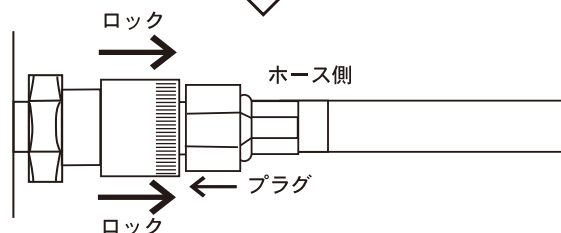


●エアホースの取付

- ①ソケットのリングをコンプレッサー側に引き、市販品のエアホース（プラグ）を差し込みます。



- ②プラグを強く押し込み、リングが手前に戻り、確実にロック状態になったことを確認してください。



※初回時、多少取り付けのきつい場合がございます。何回か着脱することにより取り付けやすくなります。
※古くなったエアホースは継手部が外れたりする可能性があり危険ですので、交換するようにしてください。
また、損傷したホースは破裂するおそれがありますので速やかに交換してください。

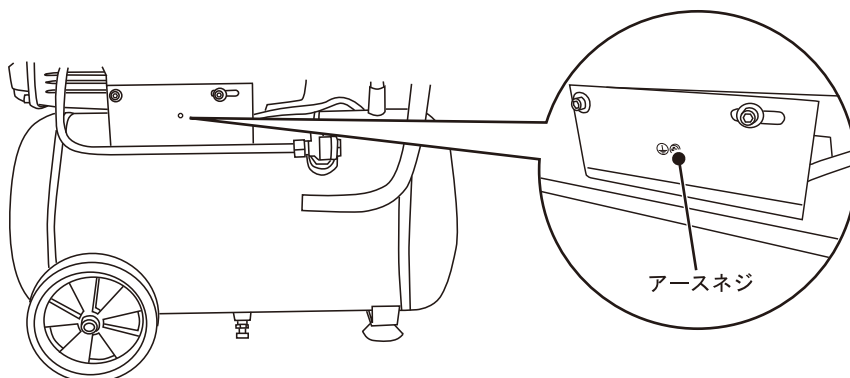
●アース線の接続

警告

- ・アースは他の電気器具と共用したり、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線等への接続は絶対に行わないでください。大変危険です。
- ・アース工事（接地工事）を新たに行うには、電気工事士の資格が必要です。アース工事を行う場合には、電気工事店にご相談ください。

・本機を安全にご使用いただくため、本体のアースネジ（下図参照）にアース線（別途ご用意ください）を接続してください。

※漏電等による感電事故防止のため、アース線は必ず取り付けてください。



●使用方法

⚠危険

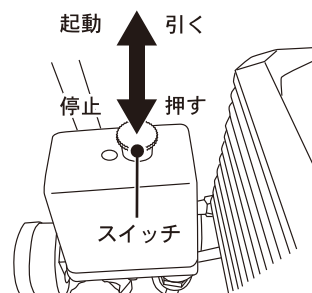
- ・製品に合った電源周波数でご使用ください。異なった周波数で使用しますと本体異常の原因となります。
- ・ご使用前に必ずオイルが適正量注入されていることを確認してください。注入されていない、または量が不足していると、シリンダーの焼き付き等、本体破損の原因となります。

⚠注意

- ・電源プラグを差し込む前に、必ずスイッチがOFFになっていることを確認してください。
- ・電源プラグを抜くときは、必ずスイッチがOFFになっていることを確認してから抜いてください。

1) スイッチ

- ・スイッチは、上に引くと起動し、押すと停止します。



2) 起動

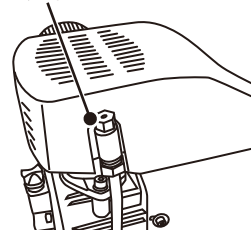
- ・本製品はタンク内圧力が約0.78MPa(8kgf/cm²)になると停止し、約0.58MPa(6kgf/cm²)まで下がると再起動します。

※本機には起動時の負荷を軽減するアンローディングバルブが組み込まれています。

起動後、タンク内圧力が一定になるまでアンローディングバルブから空気が排出されます。

タンク内圧力が一定以上になるとアンローディングバルブが閉じ、タンク内へ空気が充填されていきます。

アンローディングバルブ



3) 安全装置

①サーキットブレーカー

- ・モーターの横にはサーキットブレーカーリセットボタンがあります。本機的能力を超えた作業によるモーターの焼損を防ぐため、サーキットブレーカーが働きます。サーキットブレーカーが作動したら、即座にスイッチを押して電源をOFFの状態にしてください。5分程度時間を置いた後、サーキットブレーカーリセットボタンを押し、スイッチを上へ引いて再起動してください。

※このとき、タンク内圧力が0.58MPa以上ありますと、モーターは起動しません。一度ご使用いただいてタンク内圧力が下がると再起動します。

②安全弁

- ・運転中0.78MPaを超えても圧力スイッチが作動しない場合は、0.86MPaで安全弁が作動して、圧力を下げる構造になっております。※安全弁が作動した場合には、故障の可能性がありますので、コンプレッサーの使用を中止し、お買い求めの販売店にご相談ください。

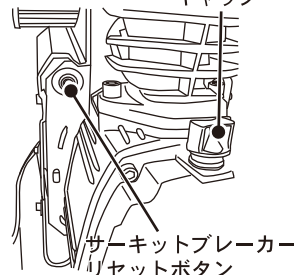
4) 吐出口圧力調整

- ・本機には吐出圧力調整機能が付いております。
- ・使用圧力0.78MPa(8kgf/cm²)以下の圧力を無段階で調整できます。

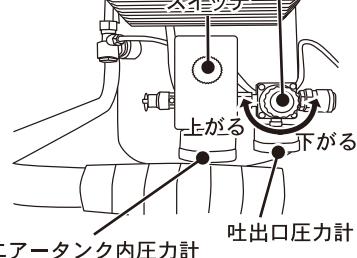
使用圧力は0.78MPa(8kgf/cm²)まで上げてから必要とする圧力まで下げてご使用ください。

- ・圧力調整ノブを時計回りに回すと圧力が上がり、反時計方向に回すと圧力は下がります。

オイル注入口
キャップ



圧力調整ノブ
スイッチ



●保守と点検

1) 消音器

- ・消音器は定期的に点検・清掃をしてください。年に1回を目安としますが、汚れがひどい場合は、本機機能を低下させないためにも交換をしてください。

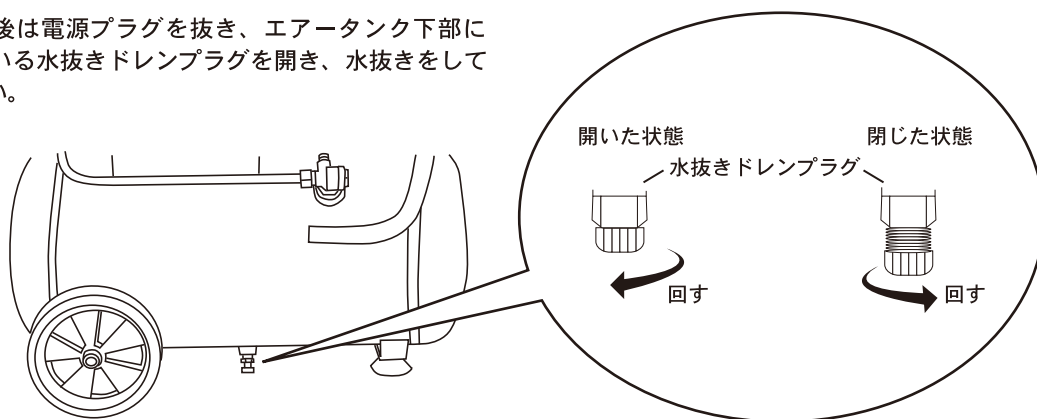
※消音器はサービス部品（別売）として用意しておりますので、お買い求め販売店にお問い合わせください。

2) 水抜き



- ・エアーを圧縮すると必ず水が発生します。サビ防止のため、使用後はエアータンク内の水抜きを必ず行ってください。

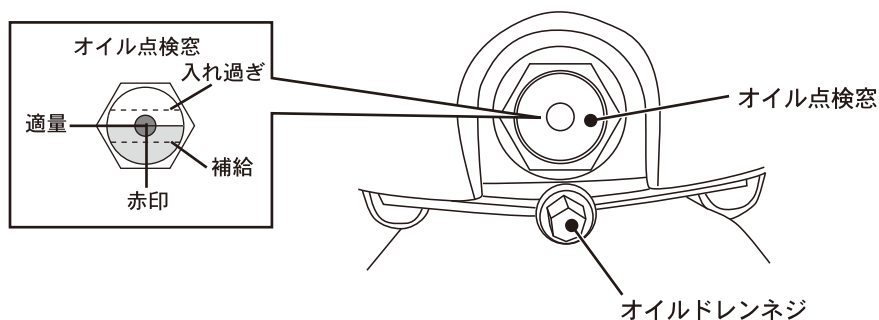
- ・ご使用後は電源プラグを抜き、エアータンク下部に付いている水抜きドレンプラグを開き、水抜きをしてください。



3) オイル交換

- ・オイルは使用頻度を考慮して適宜交換してください。
- ・オイル交換の際は、オイル点検窓の下に付いているオールドレンネジを外し、オイルを排出してください。

※廃油は法令に従って適切に処理してください。不法投棄は絶対にしないでください。



●トラブルの原因と対策

問 題	原 因	対 策
・ 電源が入らない	・ 電源プラグが差し込まれていない	・ 電源プラグをコンセントに差し込む
	・ サーキットブレーカーが働いている	・ 5 ページの 3) 安全装置の項目に従ってサーキットブレーカーリセットボタンを押す
	・ モーターの故障	・ お買い求めの販売店へ相談する
	・ タンク内圧力が 0. 5 8 M P a 以上	・ タンク内圧力を下げる
・ 圧力が上昇しない・ 上昇が遅い	・ 水抜きドレンプラグからの空気漏れ	・ 水抜きドレンプラグを締める
	・ 消音器の汚れ	・ 消音器を清掃または交換する
	・ 各ネジ部からの空気漏れ	・ 各ネジ部を締め付ける
	・ 安全弁からの空気漏れ	・ お買い求めの販売店へ相談する
	・ 延長コードが長すぎる	・ 適正な長さの延長コードを使う
	・ エアータンク内に水が溜まっている	・ 水抜きドレンプラグよりエアータンク内の水抜きをする
・ 異常音・ 振動が出る	・ 不安定な場所に設置している	・ 安定した場所に設置する
	・ ネジ類がゆるんでいる	・ ネジ類を締め付ける
	・ 部品が磨耗している	・ お買い求めの販売店へ相談する
	・ モーターの故障	・ お買い求めの販売店へ相談する

株式会社 ナカトミ

〒382-0836 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地2

●商品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

お客様相談窓口 TEL.026-245-3105 FAX.026-248-9615

商品紹介や取扱説明書のダウンロード等⇒HP:<http://www.nakatomi-sangyo.com>